

日時	6月10日(月)5限	教科書	東京書籍 (『絶滅の意味』 / 中静透)
クラス	3年4組	本時の目標	この文章から学べることは何か、探究的に話し合おう。
授業者	岩下 嘉邦	本時の狙い	『絶滅の意味 / 中静透』から学べることを話し合う活動を通して、文章に表れている筆者のものの見方や考え方について考えるとともに、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価し、自分の文章に活かせる要素を学び取ることができる。
教科	国語		

授業の流れとポイント (白いふきだし：発言、黄色のふきだし：ポイント)

1. 前時の振り返りをし、本時の学習内容を確認する。



2名の生徒を指名し、前時の学習を振り返るスピーチを行わせた。→「話すこと」の年間指導の一環であるとともに、学級全体の振り返りの場でもある。
☆本時において、学習の見通しを立てる時間にもなっている。振り返りを次の見通しにつなげている。



それぞれの生徒は自分の考えたことについて、ロイロノートを活用しながら論理的に発表を行う。

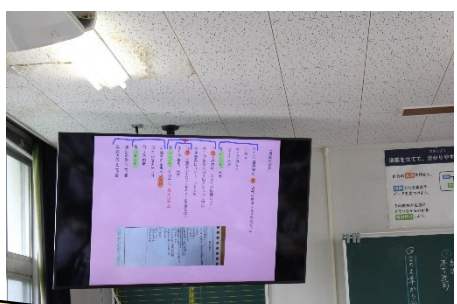
2. 課題について、学級全体で探究型の話し合いを行う。



司会者を設定し、生徒主体でテーマについて話し合いを進めていく。その際、教師は板書を行い、必要に応じてコメントを行う。

☆これまでの授業を通して、全体討議などを繰り返していたことで、生徒に委ねる率を上げることができていた。

<ステップ①：分かりやすく説明しよう>



それぞれが解決した問いに関する考えを発表し合うとともに、それに対して質問したり反論したりしながら吟味し合う。

→文章の構成や論理の展開など、これまでに学んできた「読む・書く」(説明的文章領域)の見方・考え方を発揮させていた。

〈ステップ②：自分の考えを磨こう〉



探究型の対話モデルのステップや、ルール&テクニックを意識して話し合いを行う。
→「話す・聞く」の学習で積み上げてきた話し合いに関する力を発揮させていた。

〈ステップ③：それぞれの結論を出そう〉



・必要であればペア活動やグループ活動を入れるなど、臨機応変に話し合いを進めていけるようにする。
→基本的に司会者の判断に任せる。最終的には、「この文章から学べることは何か」という課題に関する結論が出るように進めていく。

3. 話し合いを踏まえた上で、自分の考えをワークシート（振り返りシート）にまとめ直す。

6/10 (月)	/ ()	日付
<p>【読者の文章の見方】 ・主眼・根拠（動詞） ・文脈（前後の文脈） ・文章の構成（本筋） ・文章の目的（読者の目的） ・文章の表現（表現の工夫）</p> <p>この文章から学べることは何か、探究的に話し合おう。</p> <p>【見える見方・考え方】 主眼・根拠・理由 必要・理由も考える</p>	<p>見直し</p> <p>①なぜ「コウバト」の具体例を出したのか ②「世界的な絶滅の意識」とは何なのか ③トピック</p> <p>【見える見方・考え方】 一般的である 批判的に考える</p>	自分の考え
<p>【読者の文章の見方】 ・主眼・根拠（動詞） ・文脈（前後の文脈） ・文章の構成（本筋） ・文章の目的（読者の目的） ・文章の表現（表現の工夫）</p> <p>この文章から学べることは何か、探究的に話し合おう。</p> <p>【見える見方・考え方】 主眼・根拠・理由 必要・理由も考える</p>	<p>付けたん ↓根拠の意識を 予備して自分の意見を強めていた</p> <p>【見える見方・考え方】 「絶滅の意識」 その場所が身近な生物だから 5/20 ↓人間や原因 11/20 ↓人間や原因 15/20 ↓人間や原因 主眼・根拠・理由 見直しして「絶滅の意識」 「人間」の意識も「絶滅」の意識も「人間」の意識である</p>	メモ（後書きも）
<p>【読者の文章の見方】 ・主眼・根拠（動詞） ・文脈（前後の文脈） ・文章の構成（本筋） ・文章の目的（読者の目的） ・文章の表現（表現の工夫）</p> <p>この文章から学べることは何か、探究的に話し合おう。</p> <p>【見える見方・考え方】 主眼・根拠・理由 必要・理由も考える</p>	<p>【見える見方・考え方】 「絶滅の意識」が文章の目的 「人間」の意識も「絶滅」の意識も「人間」の意識である 「人間」の意識も「絶滅」の意識も「人間」の意識である 「人間」の意識も「絶滅」の意識も「人間」の意識である</p>	考えのまとめ・振り返り
<p>□学び □興味 □見・考 □学び方</p> <p>□他者 □変化 □経験 □見直し</p> <p>1/4</p>	<p>□学び □興味 □見・考 □学び方</p> <p>□他者 □変化 □経験 □見直し</p> <p>先生の手エッセイ</p>	



観点を意識しながら、振り返りシートに本時の学びを記入させる。
→振り返りシートの項目を意識させることで、発揮した見方考え方が自分の文章に活かされるようにする。

